

笑顔あふれるまちづくり



いいぬま雅子

日本共産党品川区議会議員

NO. 292. 2007. 7. 1.

港区の特別養護老人ホーム見学報告

個室ユニット型品川にもほしい!

品川区はなぜ建設を拒否?



全室個室の中心にキッチンと居間配置



ワンユニットは10室で構成されています。午後のひととき居間では数人の方が集いおやつ

港区立桜川小学校跡地に建設された、8階建て「福祉プラザさくら川」は、特別養護老人ホームと介護老人保健施設、知的障害者厚生施設の合築。ゆとりのある暖かい雰囲気。民営の施設です。個室は8畳あり、備え付けの電動ベツトとタンス以外は、自分の持ち物で我が家の雰囲気です。

8畳の個室に、思い思いの家具を配置



を召し上がっていました。写真のキッチンでは、家庭と同様に電気釜でご飯を炊きます。お風呂は、機械浴の設備も整っていますが、ユニットごとに個人で入れるヒノキ風呂があります。職員体制は、2・2人に対し介護職員1人です。



品川区は、新しい特養の職員配置基準3対1では十分な介護ができない事を理由に建設を拒否。一方利用料が高く取れるケアホーム(西五反田に続き2箇所3箇所予定)を建設している特異な区です。(裏面をご覧ください)新型特養をつくらないのは品川を含め5区のみ。25日厚生委員会に「特養ホームをつくらせて」と切実な請願が出されましたが、自民、公明、民主、無所属クラブの反対で不採択。450人も待つていらつしやる方々のためにも建設急がせましよう。

23区中18区が建設の新型特養ホーム「ゆったり個室!私も入りたい!」

6月19日、共産党区議団は新型特養ホーム建設に力を入れている港区に視察に行ってきました。「品川でもできる。運動広げ実現求めて頑張ろう」と意欲に燃えています。



